

〇〇さん

こんにちは、クロガキです。

昨日お送りしたメルマガで紹介したサイコロゲーム、実際にやってみましたか??

今日は前回の続きとして、実際に僕がやってみたサイコロゲーム(100回)の結果と

そこから分かる事などを整理してお伝えしてみようと思います。

□
└─ ■ 『確率論で戦う』というのは、こういう事だ！
└──────────────────

先ず、色々細かい議論をする前に、結果から共有しますね。

先を読み進める前に、以下のリンク先の結果を見て、気が付いたことを自分なりに書き出してみてください。

▼クロが100回サイコロを転がした結果▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/saikoro_kekka.jpg

実際、僕は時間があるときにこのゲーム何度かやってデータを取ってみた事があるので

大体同じような結果になります。

サイコロを振る条件(振り方、お椀・サイコロのサイズなど)によって

同じようにやっても結果が変わる事はあるかもしれませんが

なるべく条件を揃えて何度もやってみると、そこ迄大きく傾向は変わらないと思います。

さて、実際結果を見てみて、どんなことに気が付くでしょうか？

僕なりにパッと思いついたことを書いてみますね。

<気付いたこと>

・最大連勝は10回、逆に連敗は6回

⇒勝率は大体半々(55%)なのに、意外と勝ち負けが局所的に偏る
(確率は偏ることがある)

・同じ規則性のトレード(この場合は同じサイコロを振る行為)を続けると
勝率半分、リスクリワード1:2位でも気付くと資金は増えている

⇒勝ち負けを気にせず、同じことをくり返せばトータルで勝てる

・サイコロを振るだけであれば、1回1回の勝ち負け(結果)って思うほど気にはならない

⇒手間と時間を掛けずに『型』でトレードを続ける方が、結果に一喜一憂せず
ひたすら同じ動作を繰り返し易くなる(結果、トータルで勝てる)

こうして結果をよく観察するだけでも、トレードで勝てるようになる為のヒントになる要素が
沢山ある事に気が付くのではないのでしょうか。

特に、『確率の偏り』や『回数を重ねるごとに利益が積みあがる』感覚というのは
トレードのフォワードテストでは時間がかかるので、効果の実感をスグに得られにくいですが
こうして数秒で決着がつくゲームを通じて結果を見ていくことで
この考え方がトレードにも応用可能である事に気付いてもらえれば幸いです。

結局のところ、どこまでテクニカルを突き詰めていったとしても

勝率100パーセント、確実に勝てる方法というものが存在しない以上

マーケットを相手にトレードで稼ぐという事と、『確率論』というのは切っても切り離せない関係にあるという事です。

この原理原則を理解したうえで、僕らが普段からどんな立ち回り方をすれば

トレードで継続的に稼げるようになるのか、改めて考えてみるのも良いかと思います。

「僕(私)はこんな風に考えましたよ」という意見があれば、是非送ってくださいね。